2023年9月5日

キャリアコンサルティング技能検定２級　学科・論述・面接試験　合格体験記

２級受検番号NO：03S1110021 氏名K.F（東京都在住）

■２級技能士を目指したきっかけ

私は15年前にCDAに合格していたのですが、この資格については「取りっぱなし」で、維持しないまま放っておき、郵送物もよく読んでいなかったためキャリアコンサルタントが国家資格になった時の移行期間にも気づかず、移行期間を終了しており、大変もったいないことをしておりました。ずっと気にしていたのですが2023年3月のキャリアコンサルタント試験を再受験することとして年明けから勉強を開始し、なんとか合格することができました。合格発表は4月17日でしたが、学科の得点が予想よりかなり高く、この結果を見た時に、技能士2級とキャリアコンサルタント試験は学科の出題範囲が同じであることから、「今受けたら2級の学科も受かるのではないか。であれば、忘れないうちに受検しないともったいない」と考えたことが2級技能士を目指したきっかけで、6月の2級技能士学科試験に向けて準備開始することとしました。

■当初の勉強法

キャリアコンサルタント試験の準備でお世話になった学校に相談したところ、当会を紹介頂きましたので、当会にお願いして賛助会員としていただき、論述、面接の準備に必要そうな講座を一通り受講することとしました。学科に関してはキャリアコンサルタント試験の時に使用した素材を復習することと過去問の繰り返すこととしました。2級試験に関する予備知識も「ほぼゼロ」だった中での準備開始となりましたので、論述と面接に関しては、当会の講師の皆さんに教えて頂いたことを反芻して実行する、ということを繰り返すこととしました。

■合格のきっかけ

合格に向けてはやはり面接試験が最大の壁となるかと思います。キャリアコンサルタント試験の準備の頃から、「頷きや相槌による励まし、伝え返し」などをしながら話を聞くことは心がけており、ロープレをやっている仲間からはこの点については総じてポジティブなフィードバックをもらっており、おかげ様で「なんとなくうまくいっている」感じで終わることができるようになっていたのですが、キャリアコンサルタント試験の本番の面接ではまったく想定もしていなかったような事態に直面し、ただただ苦しみ抜いて15分の面接が終わり、大変暗い気持ちになって結果発表を待ちました。この時私は面接試験を振り返って細かな点の改善点はピックアップしていたものの、苦戦した一番の原因は「難しいクライアント役の方に当たってしまった」からだと思っていました。

当会のカリキュラムに沿って2級の面接準備をしていく中で、当会の講師の方にクライアント役をして頂いてロープレをする中で頂いたフィードバックによって、「キャリアコンサルタント試験の面接の際に、なぜあのような事態になってしまったのか」、この原因が自分の中で明確になりました。その後はこの課題をクリアすることに練習の重点を置くようになり、講師の皆さんからもポジティブなフィードバックを頂くようになりましたので、これらの体験が私の「転機」だったと思います。

■学科試験の勉強

学科に関しては、年度をまたいだことで新しい統計数字が出題範囲になる部分についてそこを補強しながら、キャリアコンサルタント試験準備の材料を繰り返し復習しました。この他は

©一般社団法人１級キャリアコンサルティング技能士の会

過去問を何度か解いたことと、当会の模擬試験も受けました。キャリアコンサルタント試験の学科試験の 3 ヶ月後、と、間を空けずに 2 級の学科試験を受けることとができましたので、違和感なく準備を進めることができたと思います。

■論述試験対策

論述と面接についてはいくつかの書籍を買って読んでいたのですが、どれもなかなかおなかに落ちていかない中で、設問間の論理のつながり、時間配分や字数配分など、当会の論述対策の講義で教えて頂いたノウハウは、大変にロジカルかつ的を射た内容であると感じたため、このノウハウを信じて、模擬試験や過去問素材を使って繰り返し回答を書いてみることで準備をすすめました。3 月のキャリアコンサルタント試験の際には、論述試験の得点が思ったよりはかなり低く、まさに「ギリギリ」で合格したのですが、当会の論述対策の講義で得たノウハウを当てはめればそれも「当然の結果」と得心することができましたので、私の中でこれらのノウハウに関して完全に肚落ちし、その習得にまい進することができました。

■面接試験対策

面接についても、当会のカリキュラムで教えて頂いたノウハウはロジカルかつ分かりやすく、システマティックアプローチに沿った面談を進めるための時間配分や場面場面の留意事項などを解説していただきましたので、講義終了後はそのままその日の講義内容をまとめる、という作業をし、ロープレがあった日についてはロープレの概要を振り返ってメモにし、自分なりに気づいた改善点およびクライアント役の方や講師の皆さんからいただいたフィードバックを書き足す作業をしておくようにしました。毎度 23 時過ぎまでかかる作業でしたが、次の回の講義/ロープレの際には事前に前回のメモを読んでポイントを思い出してから出席するようにしておりました。特にロープレに関しては前回のメモを読んだ上で、「その日の改善テーマ」を意識してからロープレに臨むようにしました。

■受検される方へメッセージ

私は受検資格を満たしていたために、3 月にキャリアコンサルタント試験を受け、続けて 6 月 7 月に技能士 2 級の試験を受けることができましたが、「2 級受検の勉強をしてよかった」と、心から思っております。キャリアコンサルティングというものに対する理解が、各段に高まったように感じました。狭き門ではありますが、準備する過程で自身の成長を得ることができる資格であるように思います。ツボを押さえた準備をすることで合格への道が拓けたように思いますが、当会はまさにそのツボを、わかりやすく伝授してくださいました。

もう 1 つだけ、合格への近道だと思うことを書かせて頂きます。それは、「ロープレはなるべく有識者の方とやった方が良い」ということです。キャリアコンサルタント試験の準備の際に、受験者の仲間内でロープレを繰り返したのですが、仲間内でやっていると、ある程度の型をこなしていればなんとなくうまくいったような感じで終わってしまうため、当時の私は「ちゃんとできているつもり」になっていたように思います。そして本番の試験では苦しんだのですが、当会の講師の方がクライアント役をしてくださったロープレの際に、まさにあの苦しんだキャリアコンサルタント試験の面接が、何度も何度も再現され、その後のフィードバックが大きな気づきにつながりました。講師の皆さんにクライアント役をやって頂いたロープレを重ねたことが私の財産になったと感じております。

©一般社団法人 1 級キャリアコンサルティング技能士の会